

カカオ豆調達方針

伊藤忠商事株式会社（以下、伊藤忠商事）は、持続可能な社会の実現に向け、原点である「三方よし」の精神を踏まえた伊藤忠商事のサステナビリティ推進の方向性を「サステナビリティ推進基本方針」として策定しており、持続可能なカカオ豆の調達を実現し、企業の社会的責任を果たすため、伊藤忠商事およびその子会社を対象として本調達方針を定めます。

カカオ豆については、農園の開発や生産に係わる環境や人権への負の影響が指摘されています。伊藤忠商事は農園事業を行っていないものの、カカオ豆トレーディングを行っており、生産者と消費者をつなぐ立場にいたることから、自社の事業活動が人権および環境等へ負の影響を与えることがないように、企業の社会的責任を果たすため、「伊藤忠グループ環境方針」「伊藤忠グループ人権方針」「伊藤忠商事サプライチェーン・サステナビリティ行動指針」を定めています。伊藤忠商事はステークホルダーとの協業により、持続可能なカカオ豆の調達を進めてまいります。

伊藤忠商事は以下の重点項目を評価の基準としたサプライチェーンの検証を行い、問題点を発見・改善すること(サプライチェーンのデューデリジェンスを行うこと)によって企業の社会的責任を果たします。そして、カカオ豆生産国・地域における法令順守のみならず国際労働機関（ILO）が定める国際規範等を尊重し、適切な手続きがなされている人権および地球環境に配慮した、カカオ豆の安定した調達活動に取り組みます。

■重点項目■

- ・ トレーサビリティの向上
小規模生産者・仲買人等多くのステークホルダーが介在するカカオ豆のサプライチェーンにおける透明化を推進し、トレーサビリティの向上を図ります。
- ・ 森林破壊と気候変動への対応
アグロフォレストリーを含むカカオ豆生産地域における生態系および天然林を含む環境上重要な地域の保全を目指します。
- ・ 農家の貧困撲滅・生活水準の向上
地域の生活インフラ提供支援や農家の収入が増えるように収穫量の増やす為の活動支援を行うことを通じて、農家の貧困撲滅・生活水準の向上を目指します。
- ・ 児童労働・強制労働を含む違法労働の撲滅
事業を行う国の法律のみならず、国際労働機関（ILO）が定める国際規範等で定められた最低就業年齢未満の児童の雇用の禁止を目指していきます。並びに本人の自由意思に由らない強制労働の禁止に取り組んでいきます。

■目標■

- ・ 2030年までにサステナブルカカオ豆※100%の調達達成
※サステナブルカカオ豆（当社の定義）：人権への配慮、アグロフォレストリーや森林保護等、重点項目に記載する活動を行いながら調達したカカオ豆

2021年6月